

脳に働きかける技術をどう扱い 人権や尊厳をどう守る？

見解「脳科学研究とその臨床応用に関わる倫理的課題」

人権・尊厳・自己決定を守りながら、
先端脳科学を社会に活かすために

本見解が扱う5つの先端領域・課題

1

脳機能イメージング研究

脳情報の保護とスティグマ防止

2

「ミニ脳」と意識をめぐる将来の課題

意識・倫理的地位など将来課題に備える

3

「その人らしさ」への影響を及ぼす懸念

自己同一性・人格・エンハンスメントの論点

4

脳情報のプライバシーと本人の意思を守る

認知的自由・精神的プライバシーを守る

5

社会との対話

当事者・市民・異分野専門家と継続的に合意形成

見解からの3つの提案

倫理的課題を扱う
仕組みを設置

当事者・市民・
異分野専門家と
合意形成

国内外へ発信し
指針・法的
枠組みへ

見解の要旨・本文等は、こちら
令和8年(2026年)5月26日公表

